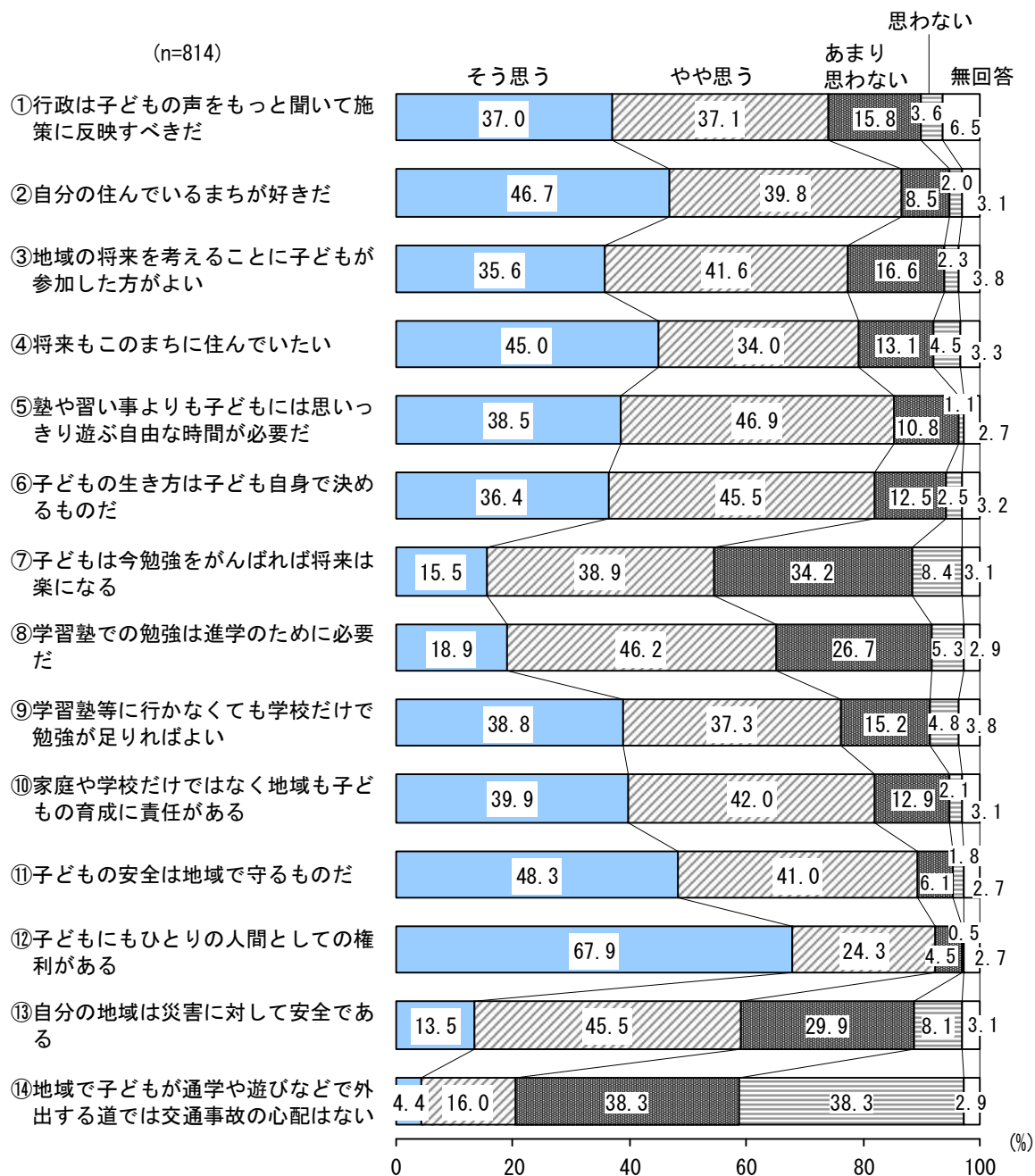


(7) 自分や子ども、地域に対する意識

問 次の設問について、あなたはどのように思いますか。(設問ごとにあてはまるもの1つに○)

【図Ⅲ-2-7 自分や子ども、地域に対する意識】



自分や子ども、地域に対する意識についてたずねた。

「そう思う」が最も高いのは、「⑫子どもにもひとりの人間としての権利がある」(67.9%)であり、次いで「⑪子どもの安全は地域で守るものだ」(48.3%)、「②自分の住んでいるまちが好きだ」(46.7%)となっており、「やや思う」をあわせた肯定的意見も「⑫子どもにもひとりの人間としての権利がある」(92.2%)が最も高く、次いで「⑪子どもの安全は地域で守るものだ」(89.3%)、「②自分の住んでいるまちが好きだ」(86.5%)となっている。

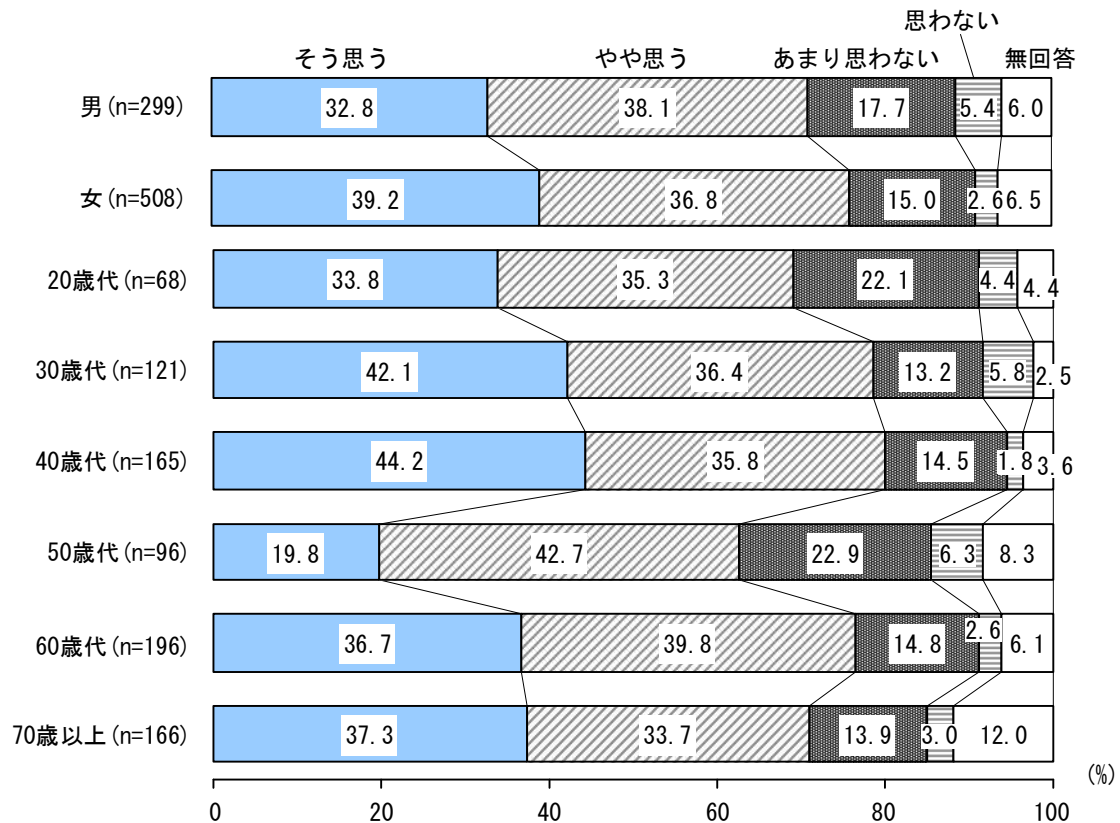
一方、否定的意見（「あまり思わない」と「思わない」をあわせた割合）は、“⑭地域で子どもが通学や遊びなどで外出する道では交通事故の心配はない”が76.6%で最も高く、次いで“⑦子どもは今勉強をがんばれば将来は楽になる”が42.6%、“⑬自分の地域は災害に対して安全である”が38.0%となっている。（図Ⅲ-2-7）

性別でみると、“①行政は子どもの声をもっと聞いて施策に反映すべきだ”、“③地域の将来を考えることに子どもが参加した方がよい”、“⑧学習塾での勉強は進学のために必要だ”、“⑬自分の地域は災害に対して安全である”の肯定的意見の割合は男性に比べて女のほうが5ポイント以上高くなっている。

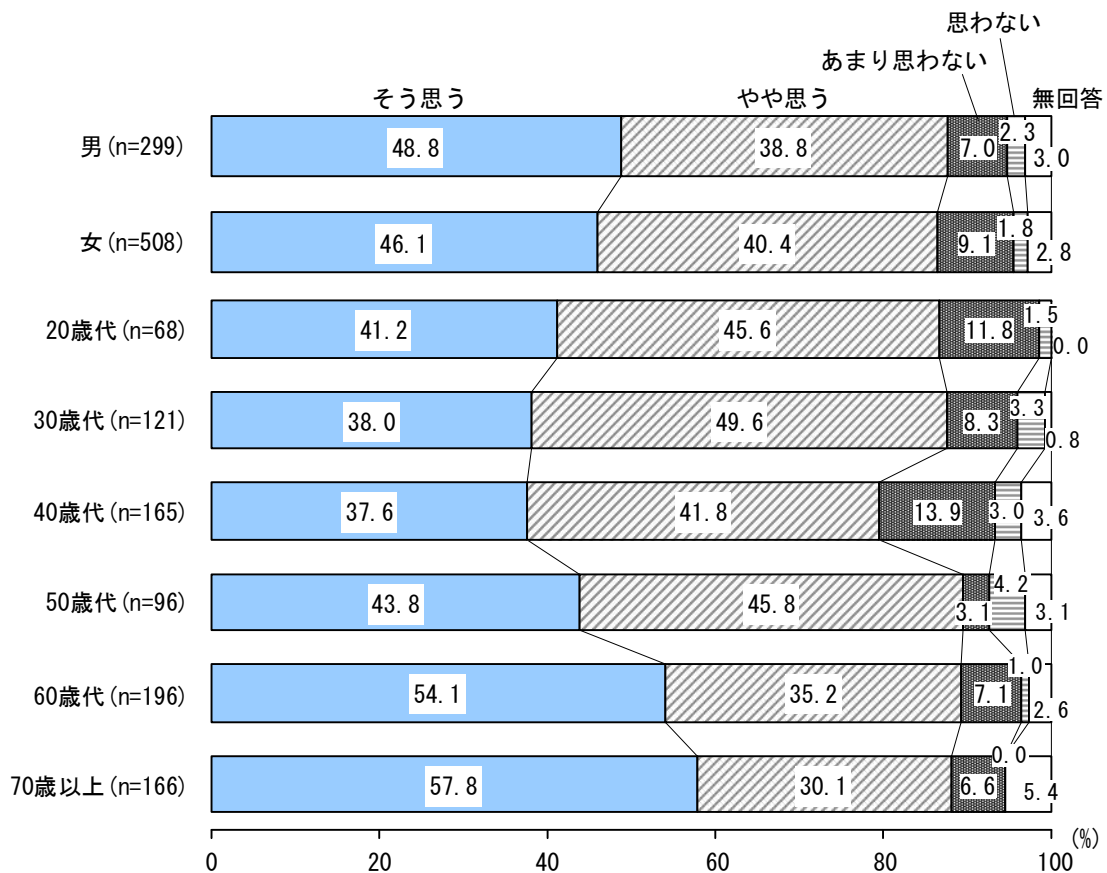
年齢別でみると、“⑧学習塾での勉強は進学のために必要だ”の肯定的意見は40歳代を境に減少傾向にあり、70歳以上（56.1%）が最も低くなっている。一方、“⑭地域で子どもが通学や遊びなどで外出する道では交通事故の心配はない”の肯定的意見は70歳以上が35.5%で最も高くなっている。（図Ⅲ-2-7-①、①～⑦）

【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識①】

①行政は子どもの声をもっと聞いて施策に反映すべきだ

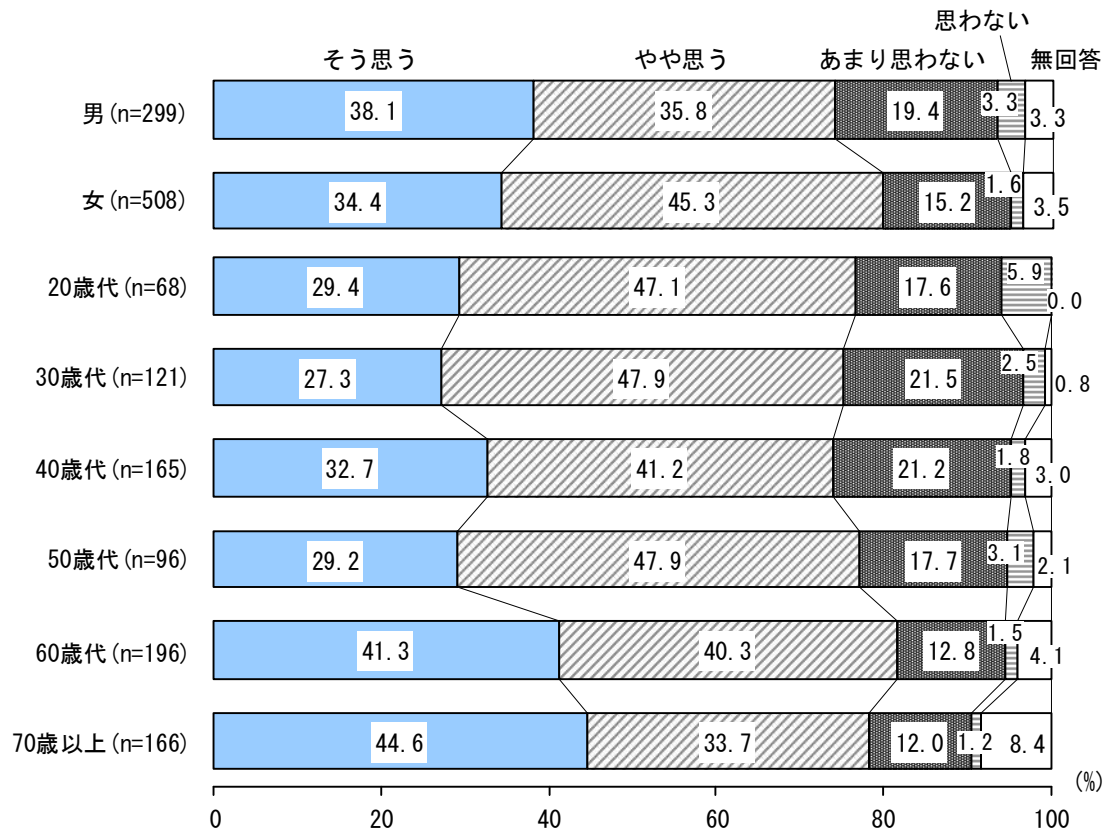


②自分の住んでいるまちが好きだ

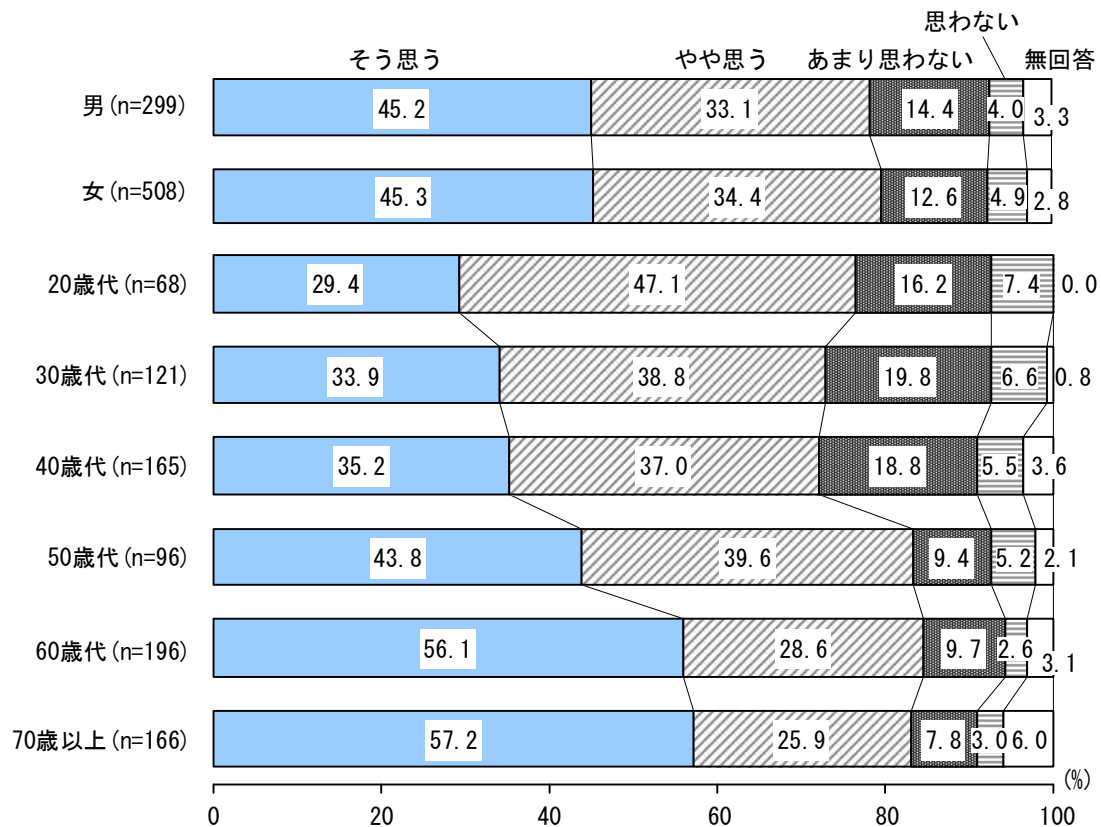


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識②】

③地域の将来を考えることに子どもが参加した方がよい

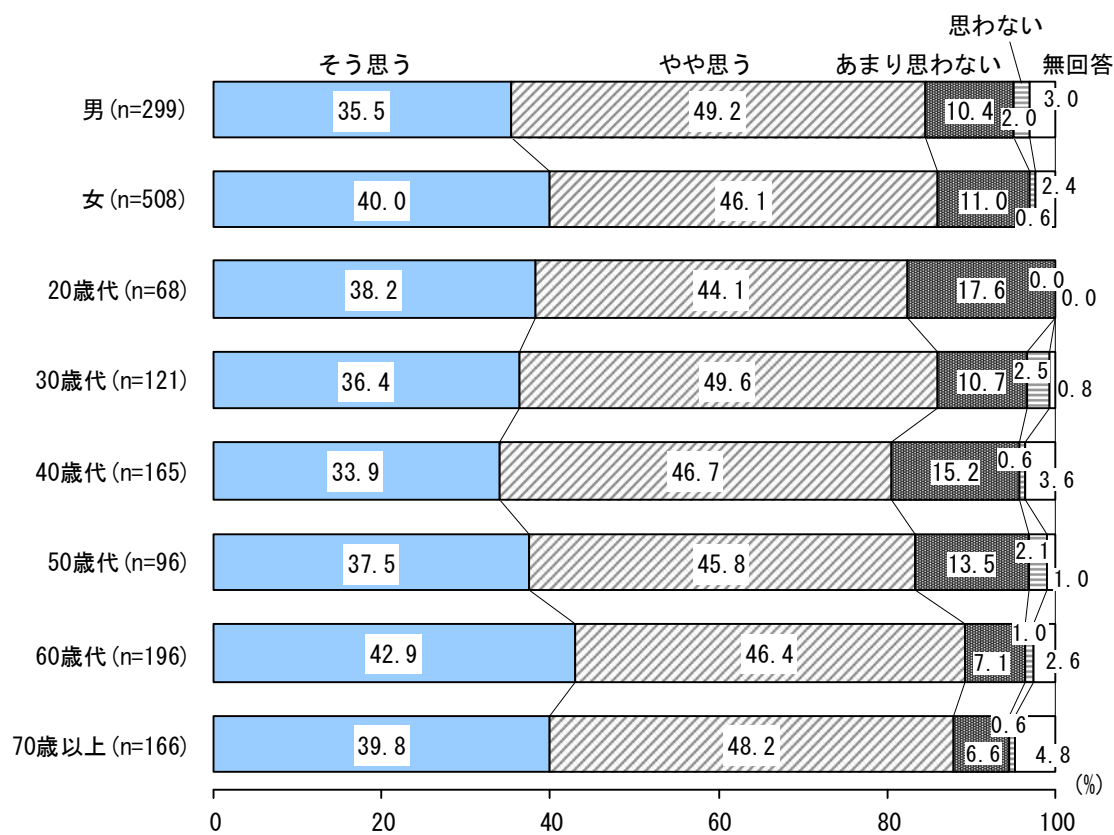


④将来もこのまちに住んでいたい

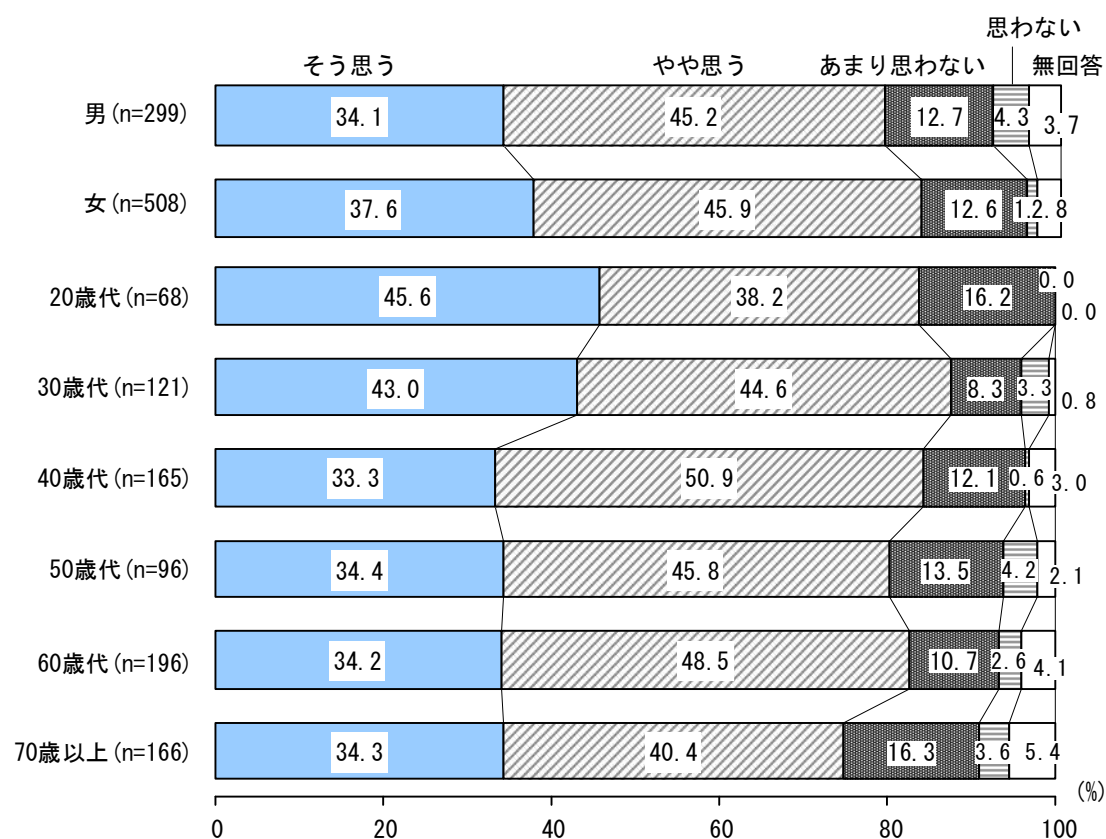


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識③】

⑤塾や習い事よりも子どもには思いっきり遊ぶ自由な時間が必要だ

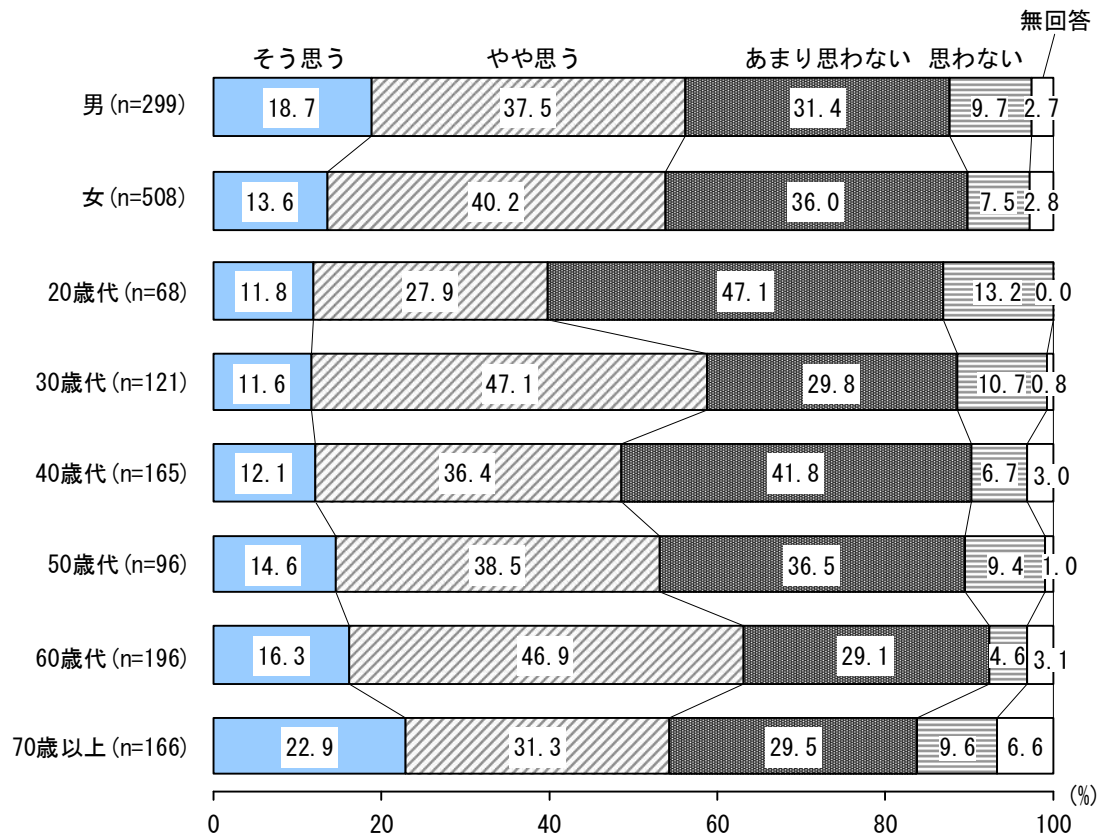


⑥子どもの生き方は子ども自身で決めるものだ

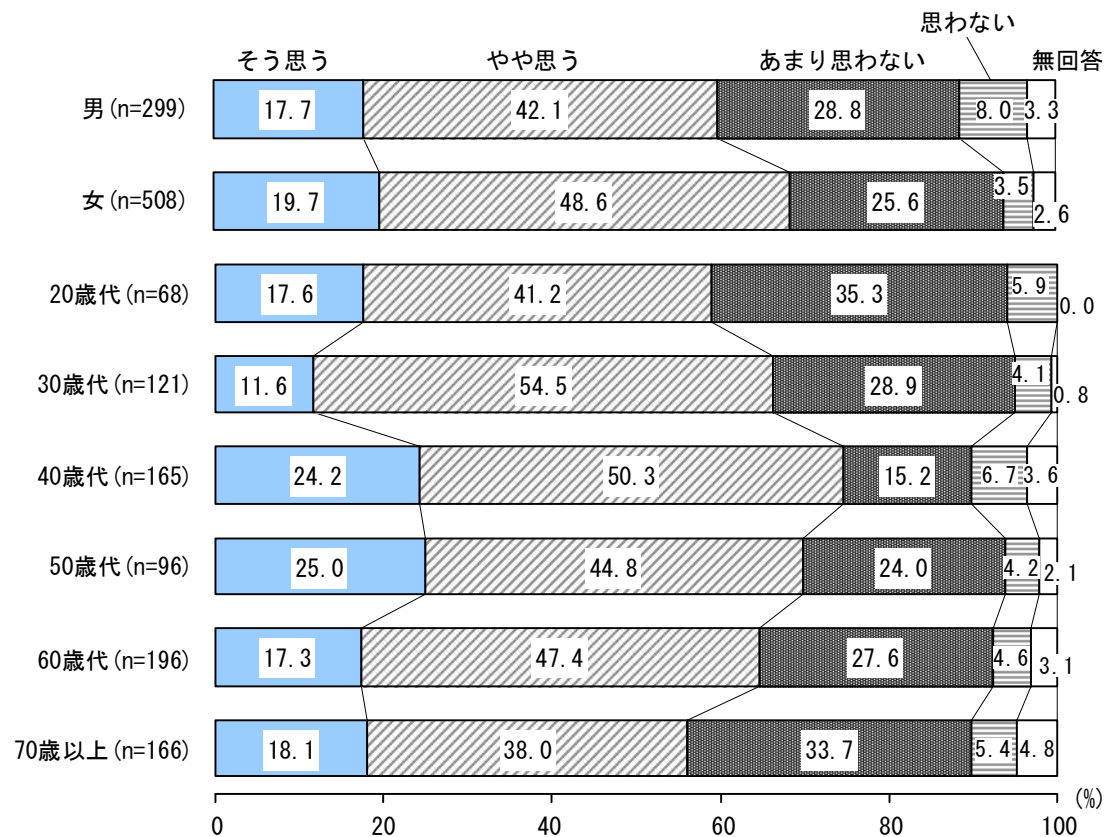


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識④】

⑦子どもは今勉強をがんばれば将来は楽になる

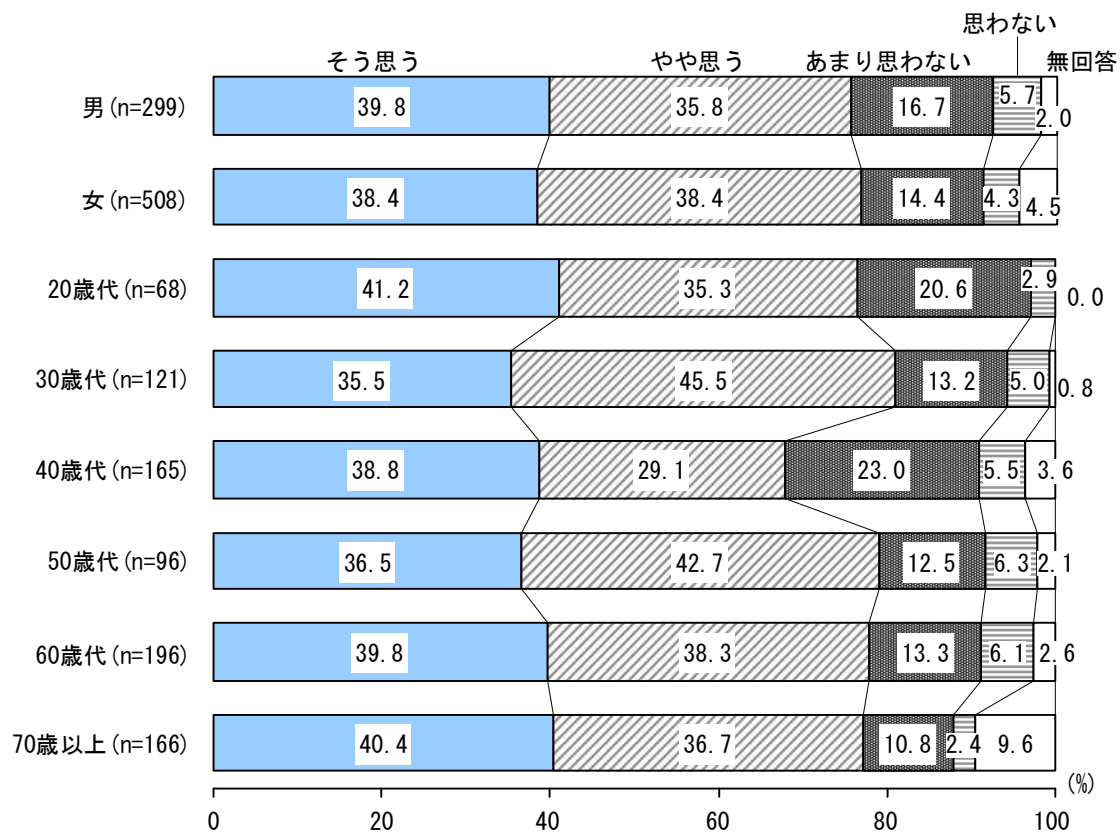


⑧学習塾での勉強は進学のために必要だ

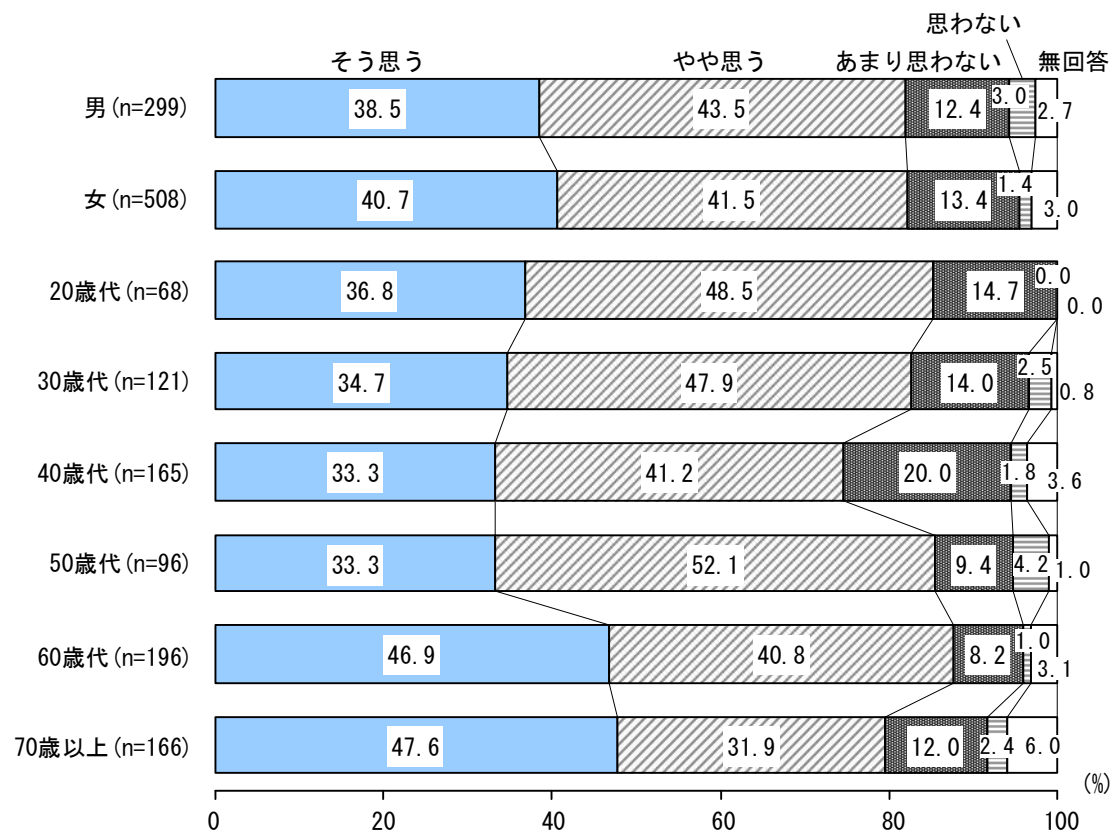


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識⑤】

⑨学習塾等に行かなくても学校だけで勉強が足りればよい

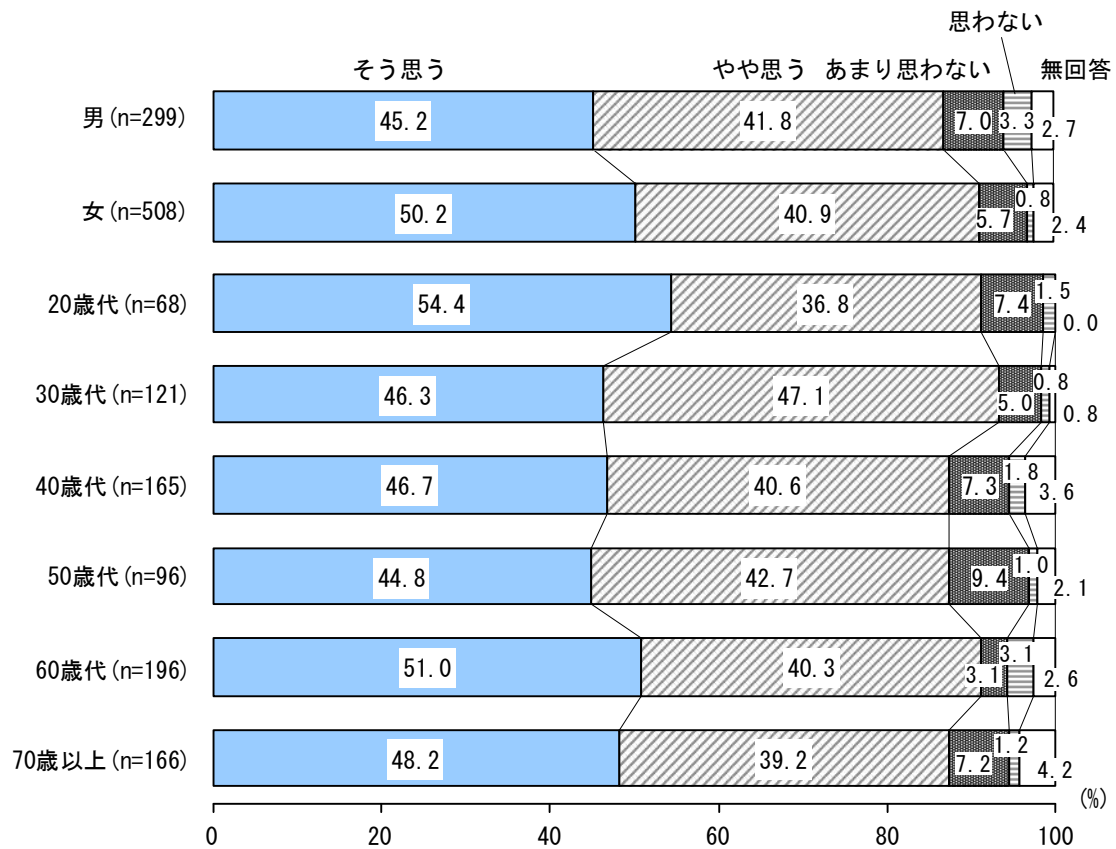


⑩家庭や学校だけではなく地域も子どもの育成に責任がある

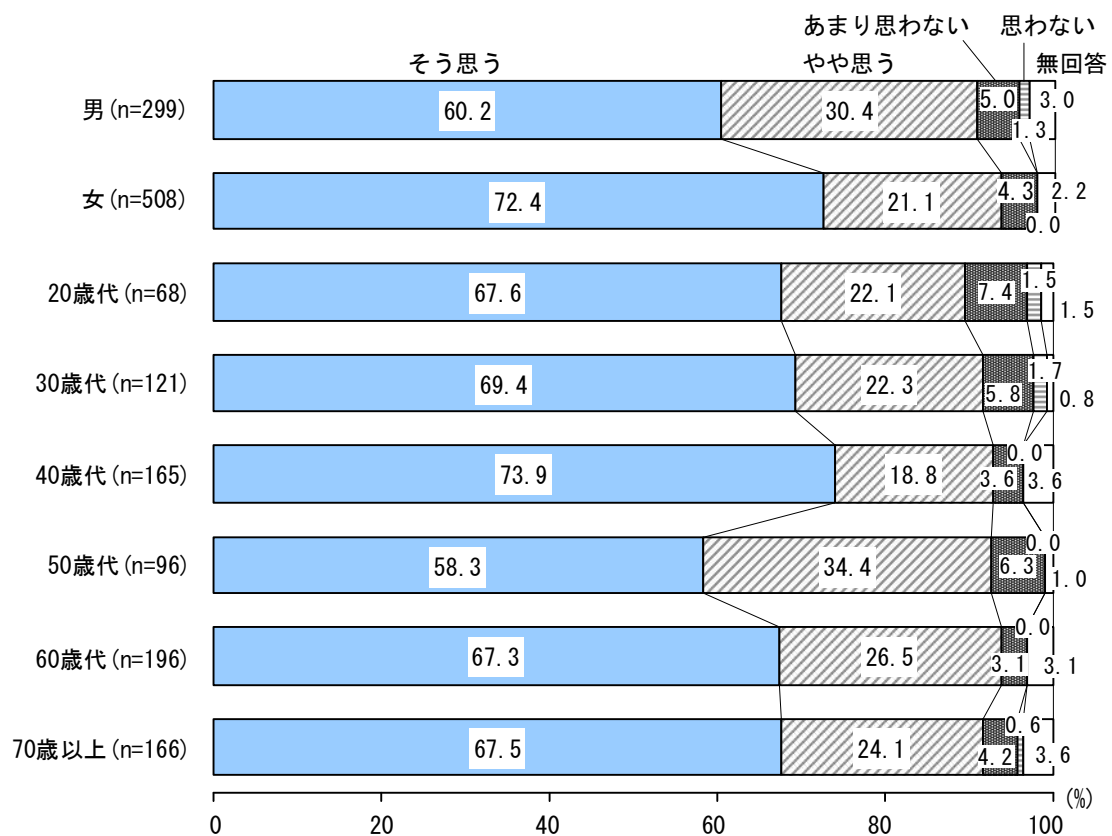


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識⑥】

⑪子どもの安全は地域で守るものだ

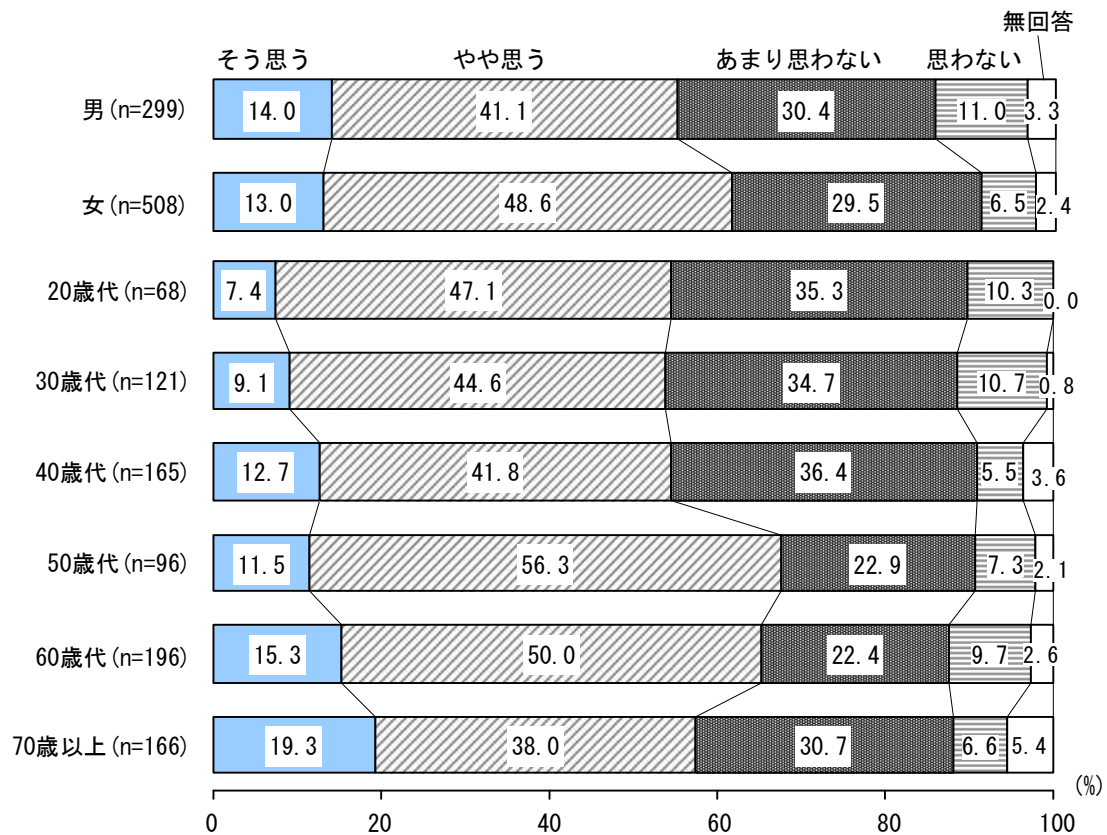


⑫子どもにもひとりの人間としての権利がある

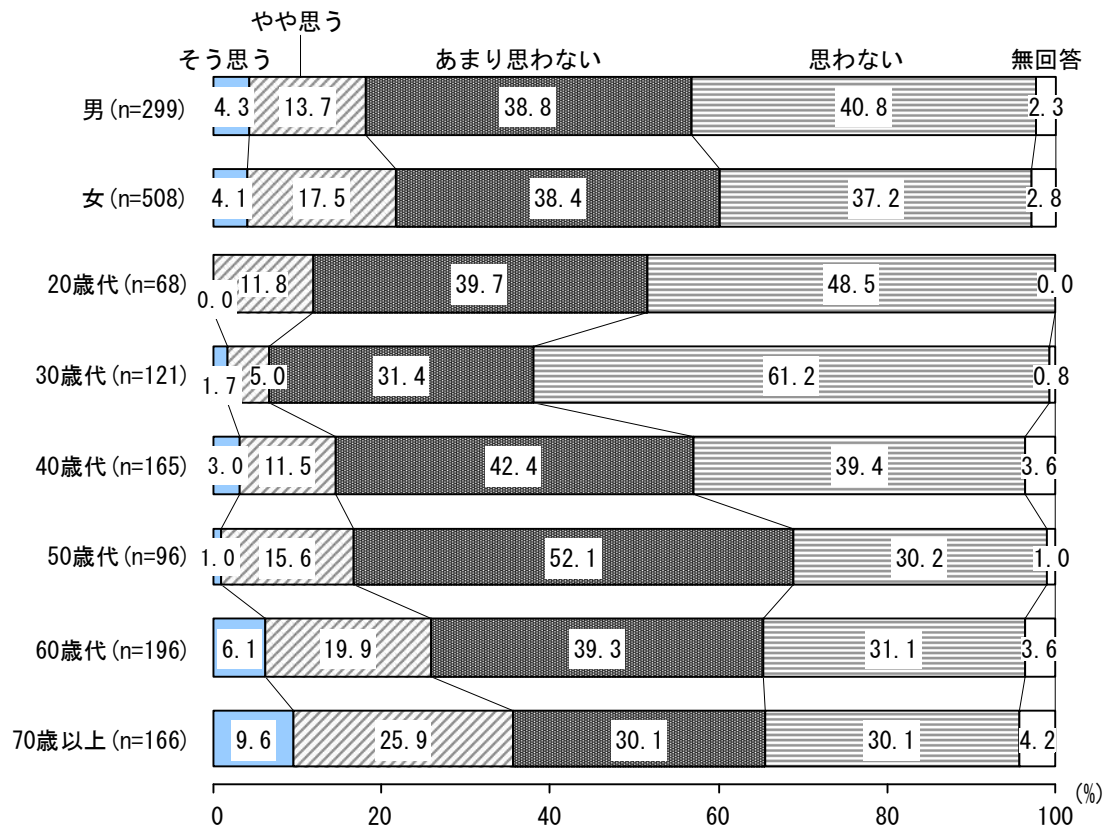


【図Ⅲ-2-7-① 性別・年齢別 自分や子ども、地域に対する意識⑦】

⑬自分の地域は災害に対して安全である



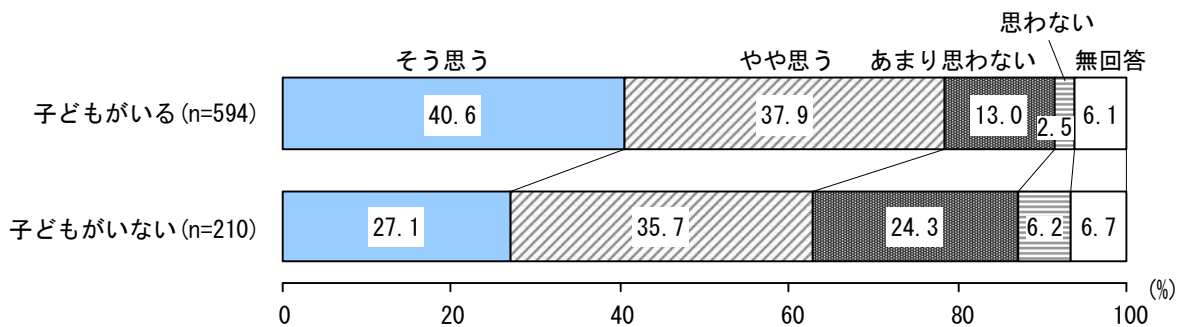
⑭地域で子どもが通学や遊びなどで外出する道では交通事故の心配はない



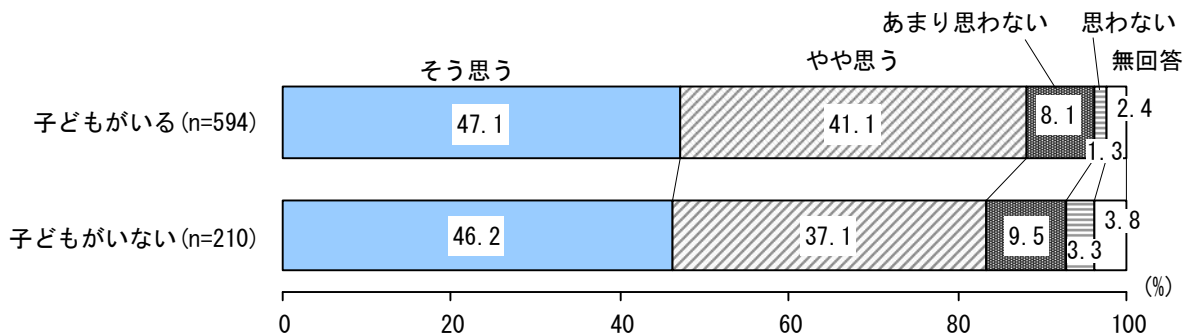
子どもの有無別でみると、“⑭地域で子どもが通学や遊びなどで外出する道では交通事故の心配はない”以外の項目で子どもがいる人のほうが肯定的意見が高くなっている。そのうち、差が大きいのは、“①行政は子どもの声をもっと聞いて施策に反映すべきだ”（15.7ポイント差）、“⑧学習塾での勉強は進学のために必要だ”（15.7ポイント差）、“⑫子どもにもひとりの人間としての権利がある”（10.7ポイント差）、“⑬自分の地域は災害に対して安全である”（8.4ポイント差）となっている。（図Ⅲ-2-7-②、①～④）

【図Ⅲ-2-7-② 子どもの有無別 自分や子ども、地域に対する意識①】

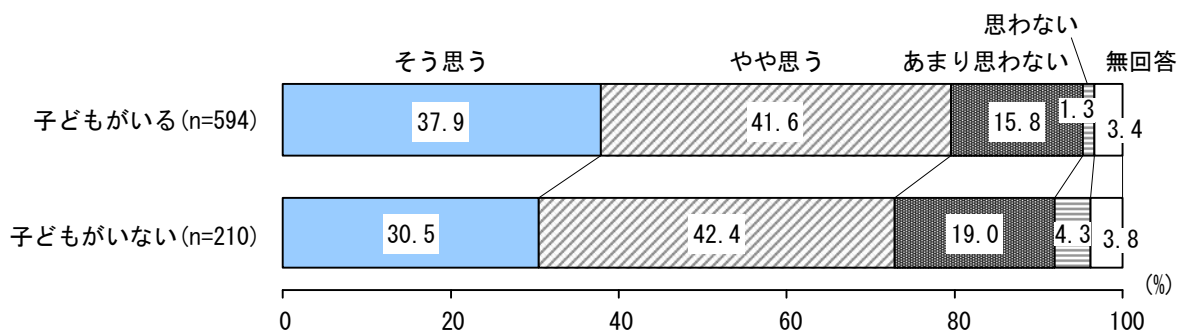
①行政は子どもの声をもっと聞いて施策に反映すべきだ



②自分の住んでいるまちが好きだ

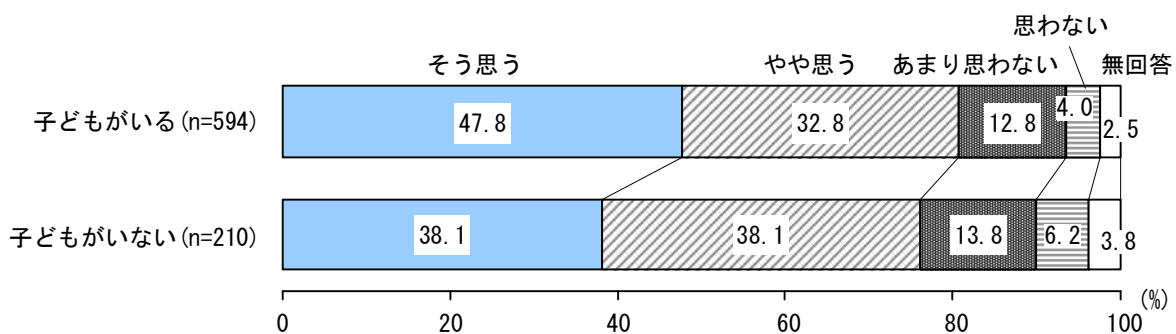


③地域の将来を考えることに子どもが参加した方がよい

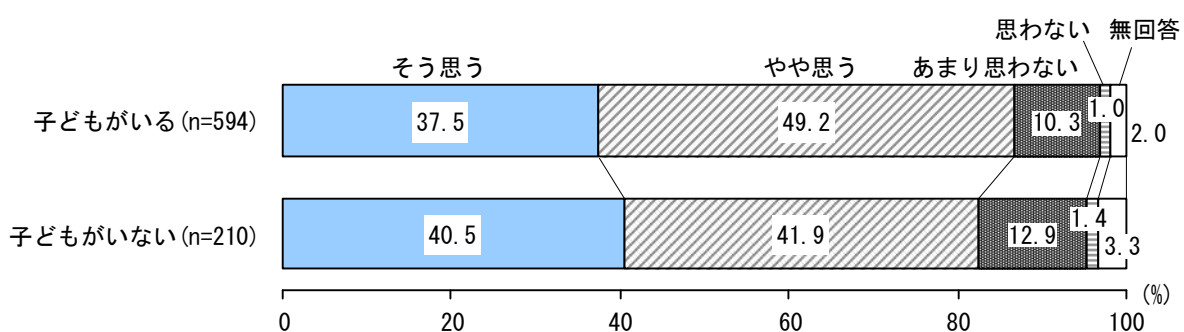


【図Ⅲ-2-7-② 子どもの有無別 自分や子ども、地域に対する意識②】

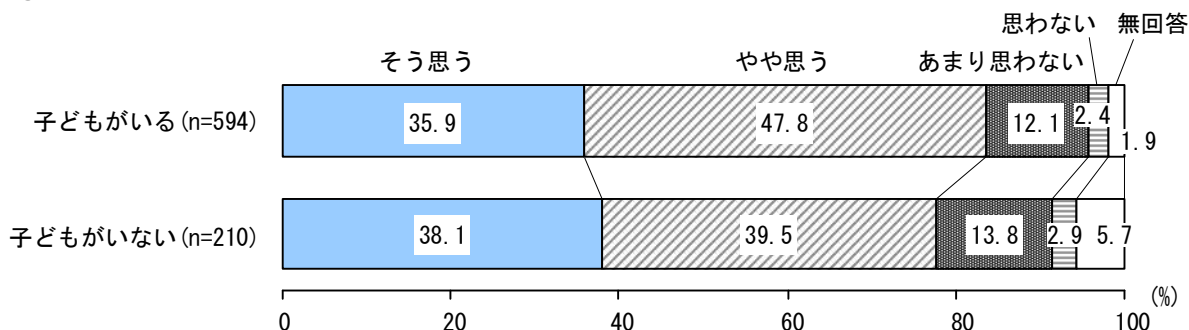
④将来もこのまちに住んでいたい



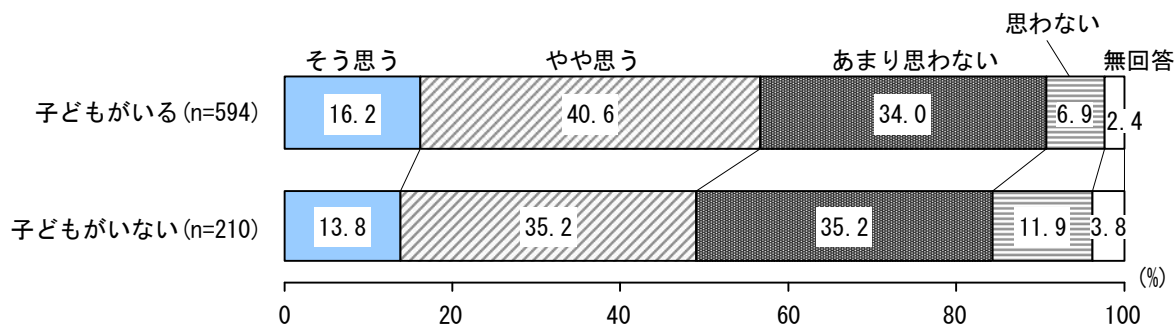
⑤塾や習い事よりも子どもには思いっきり遊ぶ自由な時間が必要だ



⑥子どもの生き方は子ども自身で決めるものだ

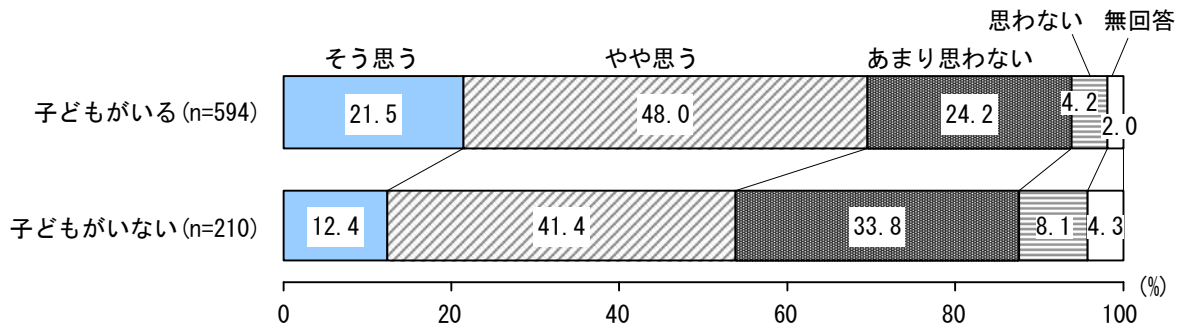


⑦子どもは今勉強をがんばれば将来は楽になる

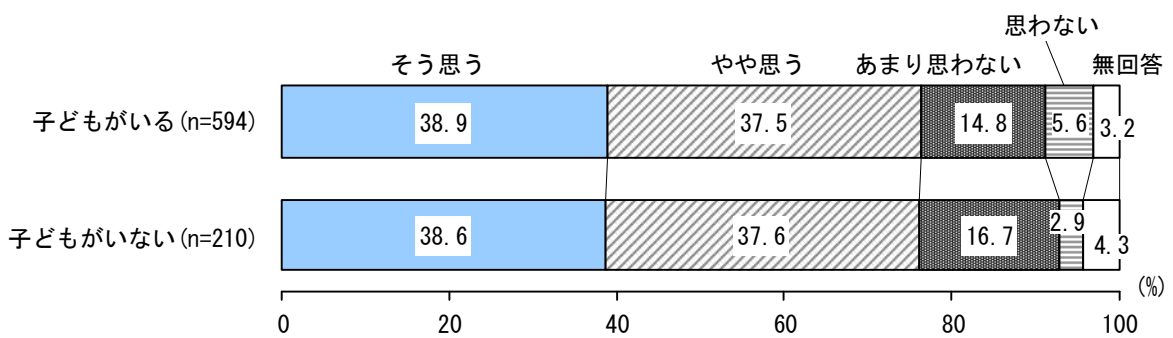


【図Ⅲ-2-7-② 子どもの有無別 自分や子ども、地域に対する意識③】

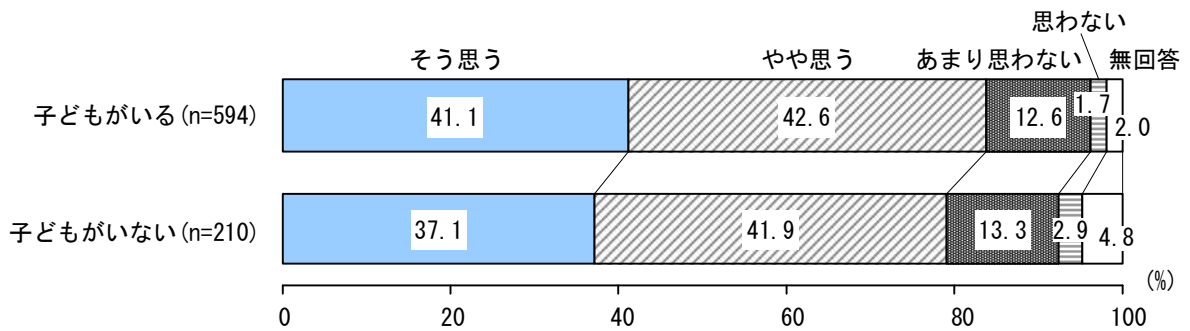
⑧学習塾での勉強は進学のために必要だ



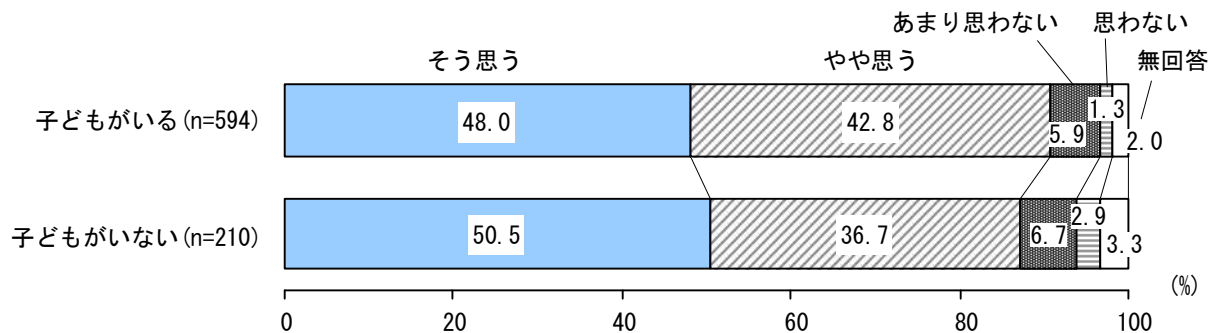
⑨学習塾等に行かなくても学校だけで勉強が足りればよい



⑩家庭や学校だけではなく地域も子どもの育成に責任がある

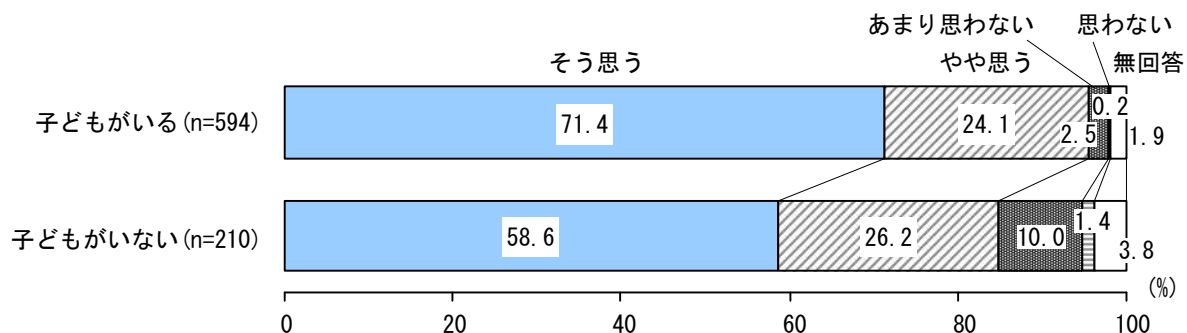


⑪子どもの安全は地域で守るものだ

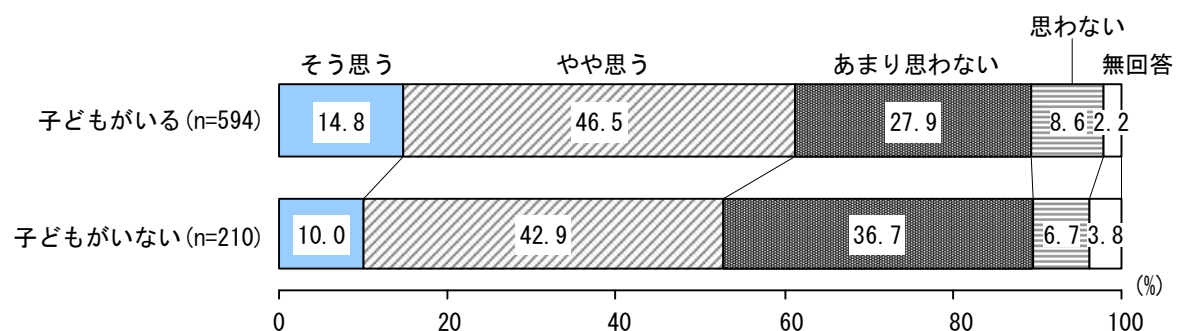


【図Ⅲ-2-7-② 子どもの有無別 自分や子ども、地域に対する意識④】

⑫子どもにもひとりの人間としての権利がある



⑬自分の地域は災害に対して安全である



⑭地域で子どもが通学や遊びなどで外出する道では交通事故の心配はない

